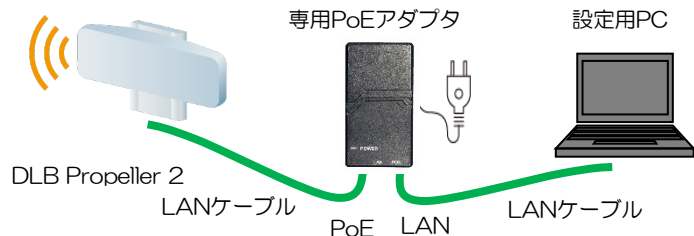


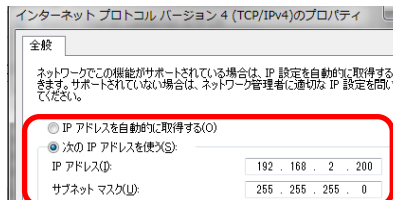
① 機器接続



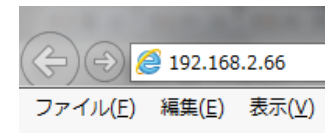
※専用PoEアダプタにリピータ機能はありませんので、ネットワーク機器-DLB Propeller 2間のLANケーブル長は最大100mとなります。

② 基本設定 (PC設定)

パソコンをDLB Propeller 2のサブネットにセットしてください。
(例) 192.168.2.200



WEBブラウザを開いてIPアドレスを指定してください。
初期設定 (192.168.2.66/24)



③ 基本設定 (親局設定)

一方をAccess Point(親局)、他方をStation(子局)として設定することにより1対1ブリッジ接続ができます。

初期パスワードを入力し、Loginボタンを押してください。
初期ID、パスワード
Username : admin
Password : admin01

LOGIN

Username

Password

English

Login

タブ内の タブで タブで Operating mode から Access point (auto WDS) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode:

↑ Access Point (auto WDS) を選択

タブ内の タブの IPv4 configuration で IP address に 192.168.2.66 と入力した後、Save changes を押して下さい。

IP method:

IP address:

Subnet mask:

Default gateway:

必要に応じて、SSIDの変更とパスワードの設定を行います。

タブ内の タブで 右下の をクリックし下記画面の変更を行い、DoneとSave changesを押してください。

SSID: ← SSIDの変更

Security settings

Security: ← 暗号化の設定

Passphrase: ← パスワードの設定

使用するチャンネルを限定したい場合は、タブ内の タブで をクリックし

下記画面のように、使用しないチャンネルのチェックを外し、SelectとSave changesを押してください。

| <input type="checkbox"/> | Channel | TX limit, dBm | EIRP limit, dBm | DFS/ATPC required |
|-------------------------------------|----------------|---------------|-----------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> | 100 (5500 MHz) | 15 | 30 | Yes |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 104 (5520 MHz) | 15 | 30 | Yes |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 108 (5540 MHz) | 15 | 30 | Yes |
| <input type="checkbox"/> | 112 (5560 MHz) | 15 | 30 | Yes |

④基本設定 (子局設定)

初期パスワードを入力し、
Loginボタンを押してください。
初期ID、パスワード
Username : admin
Password : admin01

LOGIN

Username

Password

English

タブ内の タブで タブで Operating mode から
Station (WDS/iPoll3) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode: Station (WDS/iPoll3)

Station (WDS/iPoll3) を選択

タブ内の タブの IPv4 configuration でIP addressに
192.168.2.67と入力した後、Save changesを押して下さい。

IP method: Static

IP address: 192.168.2.67

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 192.168.2.1

親機側の設定に応じて、SSIDの変更とパスワードの設定を行います。

タブ内の タブで 右下の をクリックし下記画面の変更を行い、
DoneとSave changesを押してください。

SSID: LigoDLB ← SSIDの変更

Security settings

Security: WPA/WPA2 Personal ← 暗号化の設定

Passphrase: ***** ← パスワードの設定

親局の電源を投入すると、
数分後リンクLEDが点灯し、ブ
リッジ接続が完了します。



⑤映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定

APとStationで タブ内の タブで以下の設定後、
右上のSave changesを押します。

Advanced radio settings をクリックして、

AP設定

Channel: Auto / 20 MHz ← 20MHzを選択

Radio mode: MIMO 2x2

BA window size, frames:

Station設定

Channel width, MHz: 20 ← 20MHzを選択

Max data rate, Mbps: 39 (QPSK 3/4) ← ビットレートの
ピーク値の1.3倍
以上の最小値

RTS/CTS:

8に設定

AMSDU:

Short GI: ← チェックを外す

⑥複数の子機を接続する構成の場合の推奨設定

独自プロトコルのiPoll 3を使用することにより、各子機との通信が比較的均等なデータ通信速度で行われるようになります。iPoll 3の設定は親機側のみで行います。各子機に監視カメラなど一定のデータレートの機器が接続された場合には、iPoll3の使用を推奨します。



タブ内の タブで Operating mode から

Access point (iPoll 3) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode:

Access point (iPoll 3)



Access Point (iPoll 3) を選択

注) iPoll 3はWiFiとは違った独自プロトコルであるため、DLB Propeller 2 以外の製品と接続することはできません。

⑦他の無線LANからの干渉を低減する推奨設定

他の無線LANの干渉を受け、期待した通信速度が得られない場合は、前記「⑥映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定」における、Short GIを外すことと、BA window sizeを8に設定することで改善が期待できます。

また、前記「⑥複数の子機を接続する構成の場合の推奨設定」のiPoll 3の設定でも干渉低減を期待できる場合があります。

⑧自動的に再起動をかけるPing Watchdogの設定

Ping Watchdogをイネールにすることで、ノイズ等の影響でDLB Propeller 2の通信が停止した場合、自動的に再起動がかかるようになります。

手で再起動がかけにくい環境に設置する場合は、この設定を推奨します。

この設定は親機と子機の両方でおこないます。



タブ内の タブの Ping Watchdog を選択します。

☏ Ping watchdog

Enable ping watchdog:



イネールに設定

Ping interval, min:

1



Pingを送信する時間間隔の設定(分単位)

Host/IP address:

192.168.2.66



Ping fail count to reboot:

5



再起動がかかるまでのPingの回数

Test host/IP address:

Test

相手側のIPアドレスを設定

Save Changesを押すことでPing Watchdogが設定されます。この設定例の場合は、1分間隔で相手側のIPアドレス192.168.2.66へPingが送信され、5回連続で、Pingの応答がない場合は再起動がかかります。